

児童発達支援事業に係る自己評価結果の公表

公表日 令和 2年 10月 19日

広島県立福山若草園 福山若草育成園

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		14人/18人（回収率77.8%）
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	今年度は新型コロナウイルス感染症対応のため密にならないスペースが必要です。登園人数が多い日は昼食時に食堂以外にダイルームを使用しています。	14					昼食時にはアクリル板を使用するなどし、今後も感染対策を行っていきます。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか	職員の配置数については、保育士1名の加配体制で行っています。	10	3		1		
	③ 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	使いやすい空間、構造、設備での設計を行っています。表示等で案内をしています。	14					
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	毎日、清掃と消毒を実施しています。	14					
保護者への説明責任等	⑤ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	平成30年度から実施し、業務の改善を図っております。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		14人/18人（回収率77.8%）
保護者への説明責任等	⑥ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	平成30年度から評価を実施し、評価結果に基づき会議を行い、ホームページで公開しています。						
	⑦ 第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	第三者評価による外部評価を行い、業務改善を図っています。						第三者による外部評価の実施を引き続き行います。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	今年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため外部の研修が中止となっています。園内での研修はビデオ研修を取り入れて行っています。						オンライン研修などに参加し資質の向上を目指します。
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	半期に一度はアセスメントを行い、支援計画を作成しています。	11	2		1		
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントをしている	アセスメントツールを使用しています。						
	⑪ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	支援内容は具体的に記入するように心がけております。	12	1		1		児童発達支援ガイドラインの支援内容を参考にして計画を立てていきます。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価					改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	14人/18人（回収率77.8%）	
保護者への説明責任等	⑫ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、看護師、保育士が専門性をもって分析したうえで、個別支援計画を作成しています。						
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	会議で個別支援計画を共有し支援しています。	12	1		1		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	役割分担をし、チームで行っています。						
	⑮ 活動プログラムが固定化しないように工夫されているか	対象のお子さんの実態やその日の状況に応じて活動するようにしています。	13			1		
	⑯ 支援開始前には職員間で適宜打ち合わせをし、支援の内容や役割分担について確認している	毎日、打ち合わせを行っています。						
	⑰ 支援終了後には、職員間で適宜打ち合わせをし、支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	毎日、支援の振り返りも行っています。						
	⑱ 日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	毎日、日誌を記録しています。						
	⑲ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	半期に一度、モニタリングを行っています。						
保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	児童発達支援管理責任者が参加するようにしています。						

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価					改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	14人/18人（回収率77.8%）	
保護者との連携	⑲ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。						
	⑳ （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。						
	㉑ （医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	緊急時診ていただけるよう、当園の小児科医と各主治医が連絡体制を整えています。						
	㉒ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	見学に来てもらったり、電話等で連携をとっています。						新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら必要な連携をとってまいります。
	㉓ 移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	今年度は新型コロナウイルス感染症流行のため、学校見学は個人で参加していただきました。						新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら必要な連携をとってまいります。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		14人/18人（回収率77.8%）
保護者との連携	②⑥ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	広島県東部幼児通園療育機関協議会や福山市障がい者総合支援協議会発達支援部会、福山地域児童発達支援事業連絡協議会に参加し連携しています。						
	②⑦ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	今年度は新型コロナウイルス感染症の流行があり、園外の方との交流はできていません。	2	1	7	4		保護者様とも話し合いながら検討し、可能な事から機会を持ちたいと考えます。
	②⑧ 自立支援協議会等へ積極的に参加している	毎回参加しています。						
	②⑨ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	日頃から子どもさんの状況を保護者様と伝えあうようにしています。						子どもさんの発達の状況や課題について、これからも共通理解していきます。
	③⑩ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っている	園内で行っているペアレントトレーニングの情報提供を行いました。						日ごろから積極的に保護者様と情報を共有し、話を行っていきます。
	③⑪ 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	入園時説明し、掲示板にも掲示しています。	12	1	1			

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価					改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	14人/18人（回収率77.8%）	
保護者との連携	③② 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ている	アセスメントの面談時は、いつも児童発達支援計画を示しながら行い、保護者様から同意を得ています。	12	1	1			これからも、個別の児童発達支援計画に基づき支援をしていきます。
	③③ 日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	子どもさんの健康や発達の状況、課題について共通理解ができるように努力しています。	11	2		1		これからも、日ごろから保護者と話をし、共通理解ができるよう努めます。
	③④ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	定期的ではなくその都度、また、個別支援計画の面談時に行っています。	12	2				気軽に声をかけていただき、迅速な対応につなげていきます。
	③⑤ 保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	保護者会で何かされるとき、相談にのったり協力をしています。	10	3		1		
	③⑥ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	誠意をもって対応する努力はしています。	11	2		1		保護者から聞いた話やアドバイスしたことなど職員みんなが周知するようにします。
	③⑦ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	そのように努力しています。	13	1				これからも、日ごろから保護者と話をし、共通理解ができるよう努めていきます。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	
保護者との連携	③⑧ 定期的に、会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価結果を子どもや保護者に対して発信しているか	行事予定や活動予定表、お知らせ等を掲載したおたよりを毎月発行しています。 自己評価結果はホームページで公表しています。	11	2	1	1	
	③⑨ 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	うっかり、個人情報の書いてある書類を置き忘れていたことがありました。	13		1		計画書が机に放置されていることがある。 不注意でした。個人情報の取扱いの大切さを再認識し、以降ご指摘された事がないよう注意いたします。
	④⑩ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	意思の疎通や情報伝達のための配慮を心掛けています。					
	④⑪ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた運営を図っている	今年度は新型コロナウイルス感染症の流行のため、地域の方との交流を行うような行事は中止となりました。					新型コロナウイルス感染症の流行の状況を見ながら地域との交流を再開したいと思います。
非常時等の対応	④② 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか	各種マニュアルの掲示ができていませんでした。	11	2		1	母子控え室に各マニュアルの掲示を行い、周知できるようにします。
	④③ 非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練が行われているか	火災に対する避難訓練を毎月、水害に対する避難訓練を年1回行っています。	14				
	④④ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	フェースシートに記入してもらったり、母子手帳を見せてもらったり、面談等で確認しています。					

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標	
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		14人/18人（回収率77.8%）
非常時等の対応	④⑤ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	対応しています。						
	④⑥ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	毎月、医療安全管理委員会に提出されたインシデント報告書とヒヤリハット報告書を全員に回覧して周知しています。						
	④⑦ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	虐待防止研修は職員全員が受けています。						
	④⑧ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	保護者同伴なので、ベルトなど必要と思われるときは保護者様に聞きながら行っています。個別支援計画書にも記載しています。						身体拘束にあたる支援について職員間で意識統一を行い。その都度話し合っています。
満足度	④⑨ 子どもは通所を楽しみにしているか		13	1			・保育もリハビリも家では見られないような楽しい表情をしています。	・園児の表情を見逃さないようにし、それぞれの子供さんに応じ支援できるようにします。

区分	チェック項目	現状評価（実施状況・工夫点等）	保護者の評価				改善目標
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	
満足度	⑤⑩ 事業所の支援に満足しているか		11	2		1 14人/18人（回収率77.8%） ・看護師が医療的ケア・吸引などもっとしてほしい。 ・計画書等、何の説明もないまま「サインください」とだけ渡されることがある。 ・既往症・服薬状況などのセンシティブ情報について大きな声で話されることがある。 ・若い経験の浅い訓練師だと子供への対応・訓練内容に物足りなさを感じる。 ・子供が重くなってきたので職員が助けてくれて助かります。 ・保育の内容も手が込んでいて感謝してます。	・保護者様とのコミュニケーションをとりながら支援していきます。遠慮なく声をかけてください。 ・しっかり説明するようにいたします。ご質問等ありましたら職員に声をかけてください。 ・不注意でした。ご指摘について職員間で話し合い、以降このような事が無いように気を付けます。 ・経験の浅い職員にしっかり指導してまいります。 ・何かありましたら遠慮なく声をかけてください。 ・今後も保育内容等工夫してまいります。